取扱説明書　　日立リビングサプライ

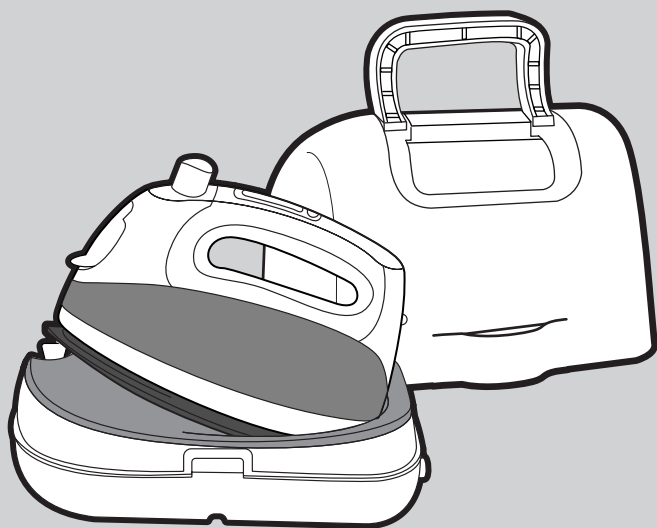
保証書付　保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

コードレススチームアイロン 家庭用

CSI-87形

このたびは、コードレススチームアイロンをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。

コードレススチームアイロン
VEGEE

目　次

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

●このアイロンは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。
●地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。
●この商品は、海外ではご使用になれません。For use in Japan only.

安全のため必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

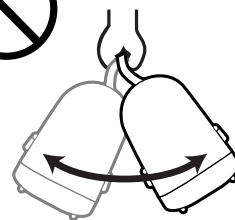
⚠警告

改造はしない お客さまご自身で 分解・修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
（破損や故障した場合は、修理を販売店へご依頼ください。）

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると発熱による火災の原因になります。

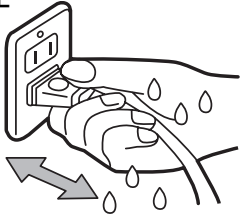
ハンドルを持って、ケースを左右に振らないでください

ハンドルが外れ、ケース·アイロン·スタンドが落下するおそれがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

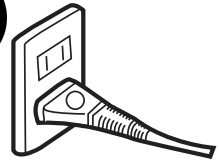
⚠警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグ・コードを破損するようなことはしない

傷つけたり･加工したり･無理に曲げたり･引っ張ったり･ねじったり･束ねたり･重い物を載せたり･高温部に近づけたりしない。傷んだまま使用するとショート･感電･火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。
（傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。）

電源プラグのほこり等は定期的に取る

電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。
●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

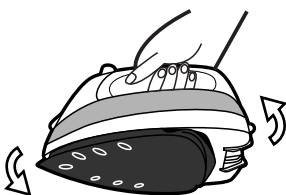
スチーム増量や、スチーム使用時にスチームを手やひざにかけない

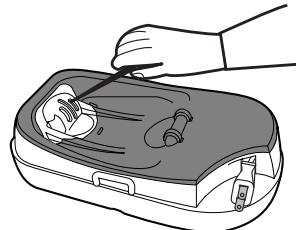
接触禁止

やけどの原因になります。

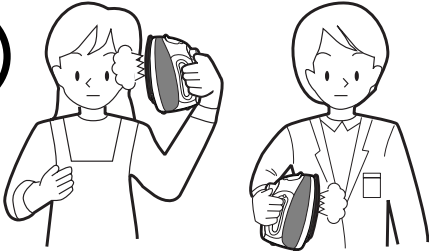
高温部（かけ面・カバー・スタンド・水タンクの下部）に手を触れない

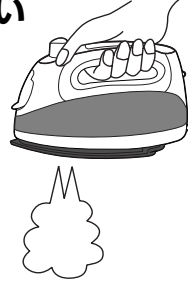
やけどの原因になります。

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない

湯滴が出て、やけどの原因になります。

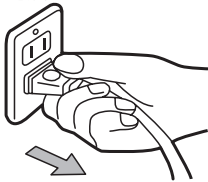
スタンドの接点にピンや針金で触れたり、ゴミを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

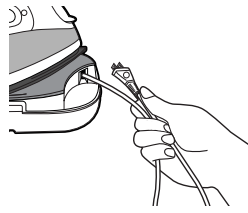
⚠ 警告

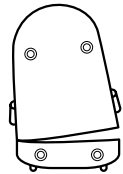
スチーム増量や、スチーム使用時に人や身体および着用したままの服に、スチームをかけない

やけどをするおそれがあります。

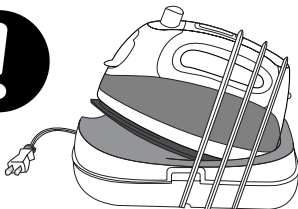
「スチーム増量ボタン」を連続して早く操作しない

4秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどをするおそれがあります。

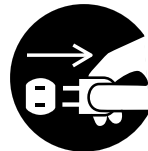
⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火の原因になります。

コードを巻き取るときは、電源プラグとコードを持って巻き取る

電源プラグが当って、けがの原因になります。

ケースをスタンドに確実にセットすること（運搬時）

アイロン、スタンドが落下してけがの原因になります。

熱いアイロンにコードを巻き付けない。

ショート・発火することがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

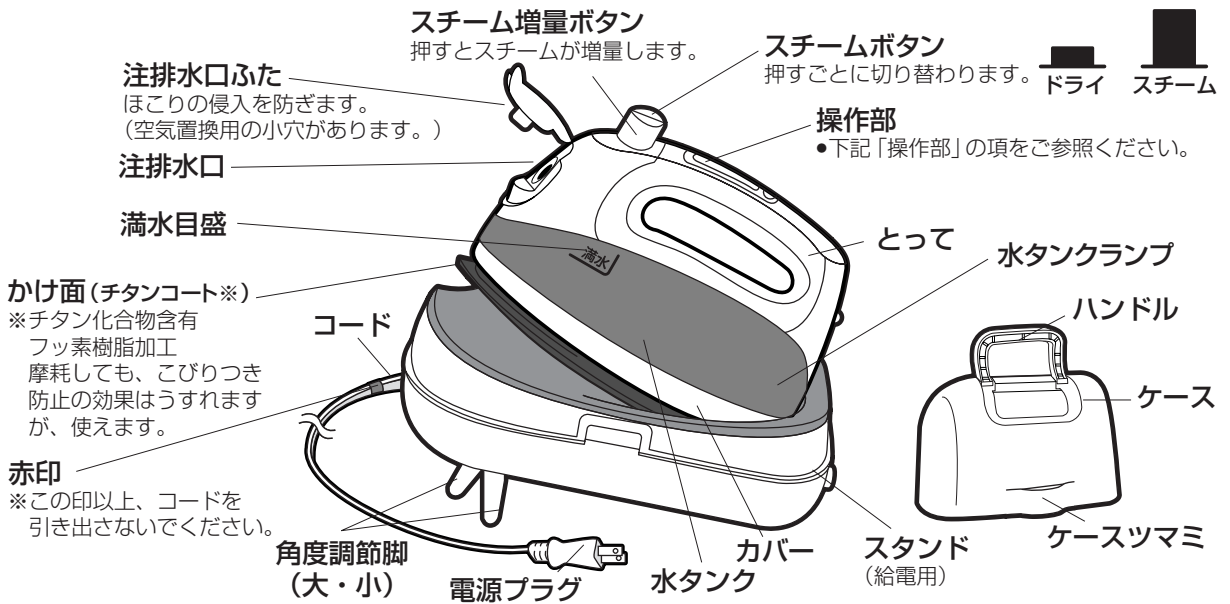
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

アイロンの近くで可燃性ガス（ベンジンなど）が発生するものを使用しない

火災や故障の原因になります。

アイロンをスタンドに置いたまま給水しない

・熱いアイロンにこぼれた水がかけ面にかかると、熱湯が飛び散ることがあります。
・感電やショートして発火の原因になります。

各部のなまえとはたらき

操作・設定温度表示部

※操作はスタンドに置いて給電されている状態で行います。

設定温度表示部

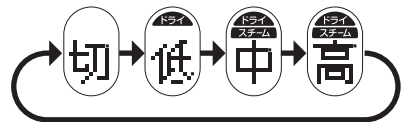
- 点滅は、加温中や、高い温度から低い温度設定に変えたときなど設定温度に達していないことを示します。
- 設定温度になれば、点灯に変わります。
- 一度、設定すると、温度設定は、記憶されます。但し、㊀切操作やオートオフ後は、温度設定をし直してください。

切 表示

- 電源プラグをコンセントへ差し込んだとき
- オートオフが働いたとき…（☞10ページ）
- 収納時…（☞10ページ）

切替

温度設定ボタン

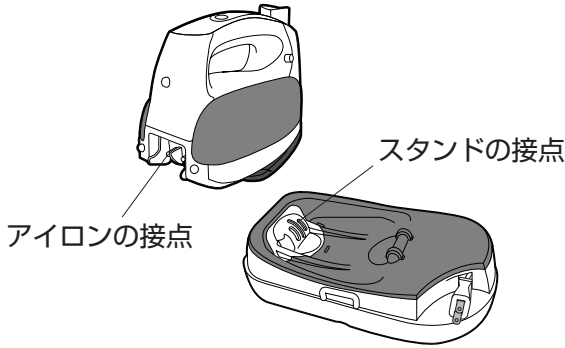
- 押すごとに、表示が変わります。設定したい位置に止めてください。

知っておいていただきたいこと

コードレスアイロンについて

コードレスアイロンは、スタンドに置くと給電し、設定温度を保ちます。

- アイロンかけの動作は、かけ続けでなく**「かける」**と**「衣類を整えるために置く」**のくり返しです。この**「置くとき」**に、スタンドへ戻すことで設定温度を保ち、コード付きのものとほぼ同じようにお使いいただけます。
- スタンドよりはずし、スチーム増量ボタンを使用せず連続してスチームアイロンかけできる時間は、使用条件により異なりますが、（高）温度設定で約70秒〜約90秒です。

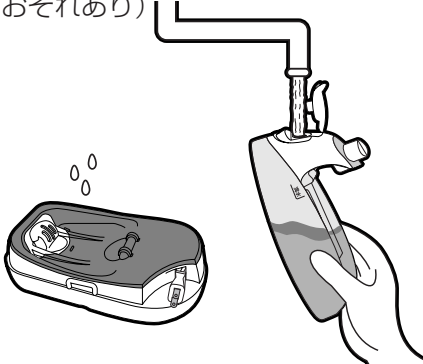
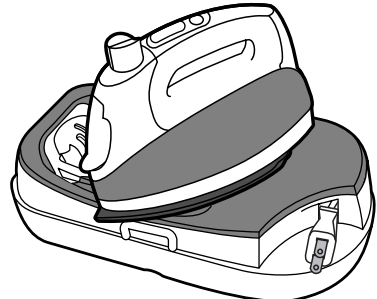
お願い

接点は磨かないで！
（接触不良のもと）

市販のかけ面カバーは使わないで！
（誤動作のもと）

高級品や特殊加工品などには目立たない所にためしがけを！
● 特にご注意
ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミア、混紡など

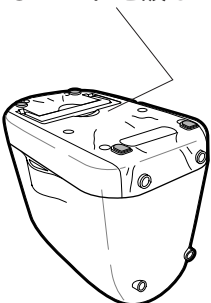
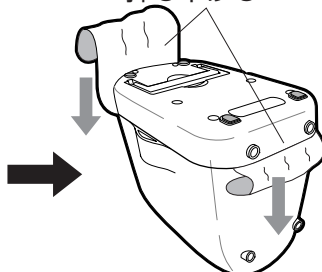
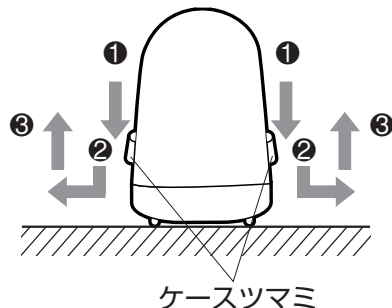
ボタン・ファスナー等の固いものにアイロンかけをしないで！（傷付きのもと）

設定温度表示が点滅中（加温時のみ）は、本体を給電台からはずさない
（火花が出る。接触不良を起こすもと）

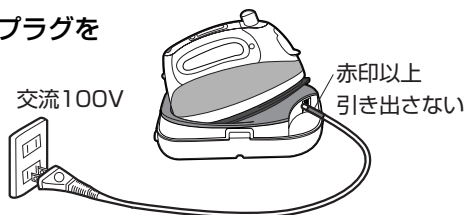
水をこぼさないで！
（感電のおそれあり）

かけ面をスタンドの面に横向きにおかないでください
（変形・傷の原因となります）

※製品を落として亀裂や破損をした場合は、ご使用をやめてお買い求めの販売店に点検・修理依頼を !!

梱包しているケースをはずすとき

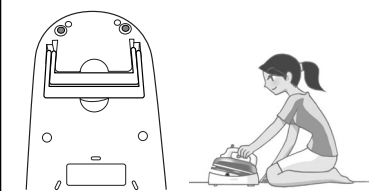
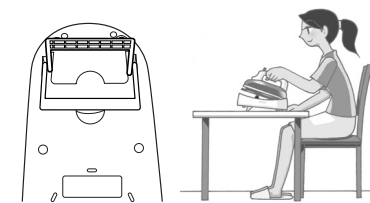
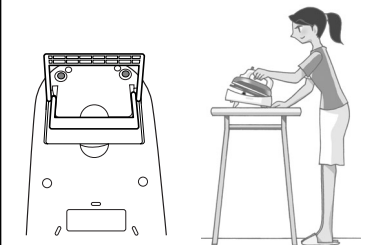
梱包材が入っているためはずしにくい場合がありますので、次の手順で行ってください。

1. **底面の透明シートを破り、シートを開いて周囲より押し下げる。**
   傷付きを防ぐため、やわらかい布の上でおこなってください。

❶シートを破る
❷シートを開いて押し下げる

2. **テーブルなどに置いてから、**
   ❶ケースツマミを両手で押し下げる。
   ❷次にケースツマミを**外側へ開く。**
   ❸ケースを**持ち上げる。**

使いはじめる前に

1　電源プラグをコンセントに差し込む

ケースをはずしてから、コードを引き出し、電源プラグをコンセントへ差し込む。㉜表示が点灯します。

角度調節脚の使い方

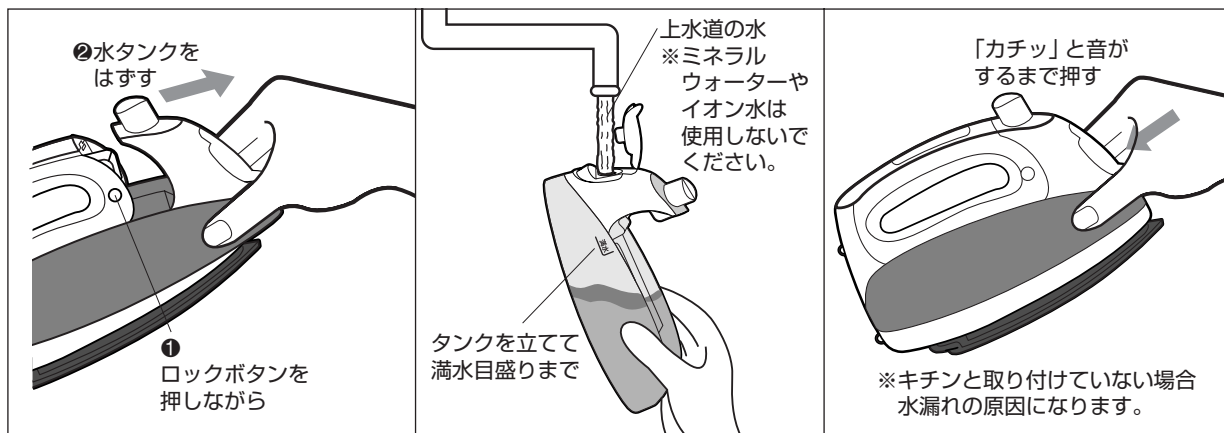
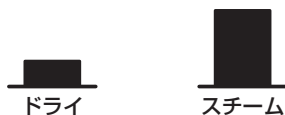
アイロンがけの姿勢により、角度調節脚（大小）を使用してスタンドの角度を変えることができます。

角度調節脚収納
おすすめ姿勢（正座）

角度調節脚収納（小）
おすすめ姿勢（椅子）

角度調節脚収納（大）
おすすめ姿勢（立）

2　水タンクに水を入れる

ドライアイロンとしてお使いになるときは、水タンクに水を入れなくても、お使いいただけます。

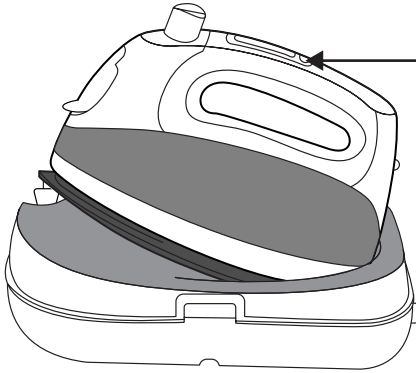
水こぼれ防止のためにスチームボタンをドライにし、水タンクをはずして水を入れる。次に**注排水口ふたの先端**を**押して**しっかり締めてから、水タンクを取り付ける。

- 水タンクが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- 注排水口ふたは、無理に押し上げないでください。割れる原因となります。

スチームボタン
- 押すごとに切り替わります。

- **「満水」目盛以上、注水しないでください。**
  （スタンドに置いたときスチームが出てスタンドが結露します。）
- 注水の時、水がこぼれたときは必ず布でふきとってください。

スチームアイロンとしての使い方

1　温度設定

アイロンをスタンドに置き、衣類に適した温度に設定すると、ランプが点滅します。

切替を押して温度設定をする。

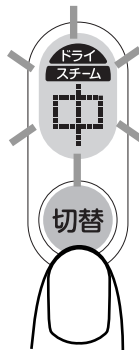
（アイロンがスタンドからはずれていると、温度設定はできません。）

※スタンドに置く時は、スチームボタンを押し下げて「ドライ」にしてください。

スチーム

衣類に合わせて**(高)(中)**のいずれかに設定する。

(中)に設定のとき（点滅）

※衣類の絵表示があるときは、絵表示に従って合わせ、ないときはスタンドの繊維案内表示を参考にしてください。

(高)：(高)温度の厚手の布地やふっくら仕上げなどに

(中)：(中)温度の薄手や混紡の布地に当てるとき

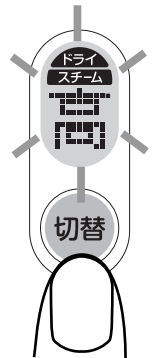
温度設定とスチーム

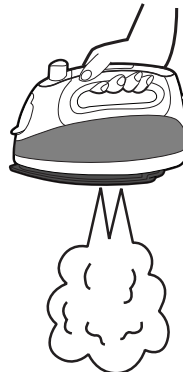
温度設定	使用目的
中	薄手や混紡の布地を当てるとき
高	厚手の布地やウールのふっくら仕上げなどに

スチーム増量
ハンガースチーム

必ず**(高)**に設定する。

(高)に設定のとき（点滅）

※(高)以外に設定すると、水もれしたり、スチームが出ないことがあります。

●強力スチームでガンコなシワや厚手の布地の仕上げに適しています。

スチーム増量

ハンガースチーム

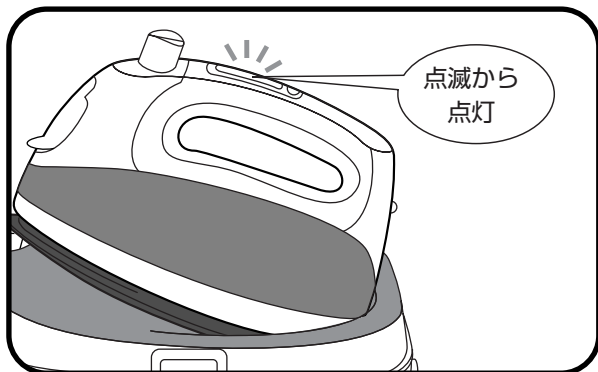
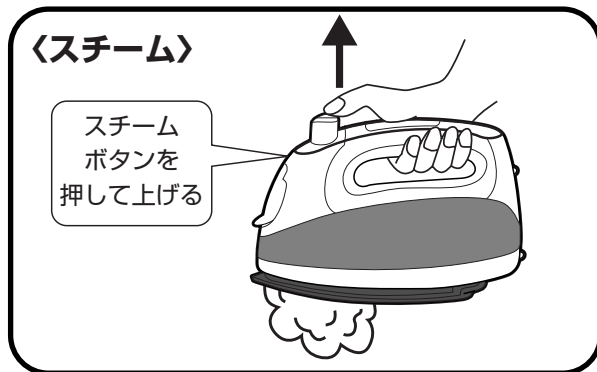
「上手なアイロンのかけかた」（13〜15ページ）をご参照ください。

布地を傷めないために、低温・中温および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしがけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。

2 使用開始

設定温度表示が点滅から点灯に変わると使えます。（アイロンをスタンドからはずしたときは、ランプは消えます。）「高」が約80秒、「中」で約60秒かかります。
アイロンを水平にして、スチームボタンを押し上げて「スチーム」にすると約7～10秒後スチームが出始めます。「中」で「スチーム」を使用されると、「高」に比べご使用時間が短くなります。

〈スチーム〉

スチームボタンを押して上げる

●温度設定を高温から中温に変えた場合は、点滅が点灯になってからご使用ください。
●使いはじめやスチームの出方が弱いときは、**「スチーム増量ボタン」**を1～2回押してください。または**「スチームボタン」**をゆっくり1～2回押してください。

●傾けたり前後にはげしく動かすと注排水口やスチーム穴より水や湯滴が出ることがあります。
●水タンクの水が無くなりましたら、「使いはじめる前に」の「2　水タンクに水を入れる」の手順で注水してください。

〈スチーム増量〉

〈ハンガースチーム〉

●使いはじめにスチームが出ないときは、スチーム増量ボタンを1～2回押してください。
●タンク内の水が少なくなってスチームが出にくいときは、満水目盛まで再注水してください。
●次の場合は、アイロンをスタンドに戻して給電してください。
（1）スチーム増量使用中に、スチームの勢いが弱くなってきたとき。
（2）ボタン操作が重くなり、スチームが出なくなったとき。（スチームバルブが作動しています。）

●アイロンを真横や逆さにしないでください。水もれすることがあります。
●「スチーム増量ボタン」は、ドライ・スチームどちらの位置でもご使用できます。

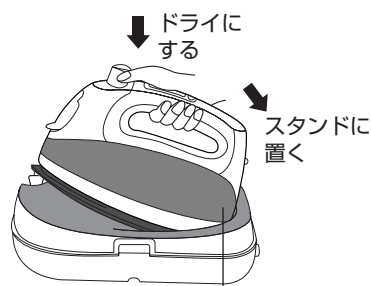
ご注意 ※スチーム増量ボタンはスチームが勢いよく出るのでご注意ください。

スチームアイロンとしての使い方 (つづき)

お願い

- 「スチーム増量ボタン」の操作が重くなったりスチームの勢いがなくなった後も、「スチーム増量ボタン」を押し続けると、湯滴や水もれや故障の原因になりますのでおやめください。
- スチーム使用中に「スチーム増量ボタン」を押した場合、かけ面の温度が下がってスチームが出にくくなります。
- 「スチーム増量ボタン」を使用した後、「スチーム」状態でのスチームは約3〜5秒後出始めます。
- 「スチーム増量ボタン」の使用回数が多いとかけ面の温度が下がって「スチーム」状態でのスチームの勢いがなくなります。

3 給　電

①アイロンを使用していない(衣類を整えている)ときやスチームの勢いがなくなったときは、スタンドへ戻して給電してください。
②アイロンをスタンドへ戻すとき、スチームボタンを**「ドライ」**にしてください。そのまま戻しますと**「かけ面」**のスチーム穴から水蒸気、湯滴が出つづけます。
③給電中は設定温度表示が点滅します。かけ面の温度が設定温度の範囲内になると、設定温度表示は点滅から点灯に切り替わります。

オートオフについて

アイロンをスタンドに置いたままにしておくと、10分後にブザーが鳴り、水タンクランプが点滅後、消灯して自動的にヒーター回路を切り、設定温度表示が㊀切になります。

- オートオフにより(切)表示になった後、続けてご使用になるときには、温度設定をし直してください。

オートオフは「低」･「中」･「高」いずれかの温度設定状態にある時に動作します。
また、アイロンをスタンドに置いた時に動作して、スタンドからはずすと解除されます。

4 収　納

①電源を(切)設定にします。

- ご使用後は必ず(切)設定にしてから電源プラグを抜いてください。(切)設定にしないでプラグを抜き、再使用しますと、マイコンが記憶している前回の設定温度になります。

②電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。本体を冷ましてください。

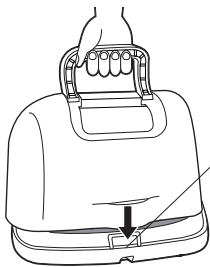
③水タンク内部のヌメリ、汚れ付着防止のため、スチームボタンを**ドライ**にし、**水タンクの水を捨てる**。
●水や、水タンクが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

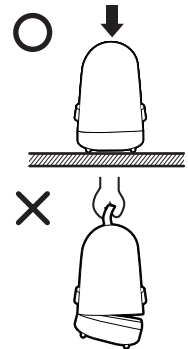
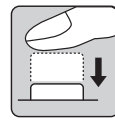
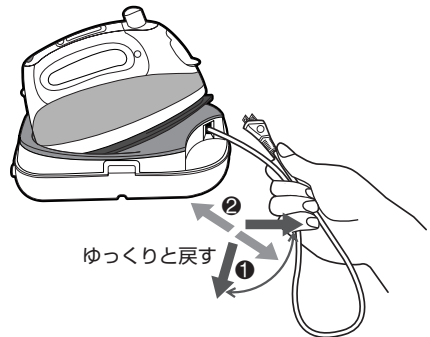
タンクの水を捨てる

スチームボタン

④コードを収納する。
※右図のように電源プラグとコードを持って､巻き込んでください。
❶矢印の方向にコードを約5～10cm程度**引きながら左右にゆっくり振る**。
❷次に、コードを**ゆっくりと戻す**。

●コードがよじれていると収納しにくくなります。よじれをもとに戻してから、ゆっくりと巻き込んでください。
●コードを赤印以上引っ張ったときは、少し強めに引っ張ってから巻き込んでください。

⑤ケースを傾けずに、**まっすぐかぶせる**。

アイロンを持ち運ぶとき

ケースの上面を手で押さえて、ケースがスタンドに確実にセットできているか確認してください。
※ケースの片側のみが引っかかった状態で持ち運ぶと、アイロン・スタンドが落下することがあります。

ワンポイントアドバイス

●スチームバルブ機構について
ご使用中、かけ面温度が下がるとスチームバルブが動作し、スチームが止まります。また、動作するとき内部で｢カチン｣と音がしますが、異常ではありません。

●アイロン本体を振ったときの「カタカタ音」について
弁などが動く音です。異常ではありません。

●スチーム穴をつまりにくくするには
収納する前に、｢高｣位置に合わせ給電してから、ご不用の布の上で2～3回｢スチーム増量ボタン｣を押してください。
(スチームのパワーにより水あかをつまりにくくするクリーニング効果があります。)

●アイロンをスタンドに置いたとき
- ｢シュー・シュー｣と音がする場合がありますが、異常ではありません。
  スチームボタンは必ず｢ドライ｣にしてください。
- ｢スチーム｣になっていると水蒸気や湯滴が出つづけます。
- 給電中、｢カチッカチッ｣と音がしますが、スイッチの入・切音です。

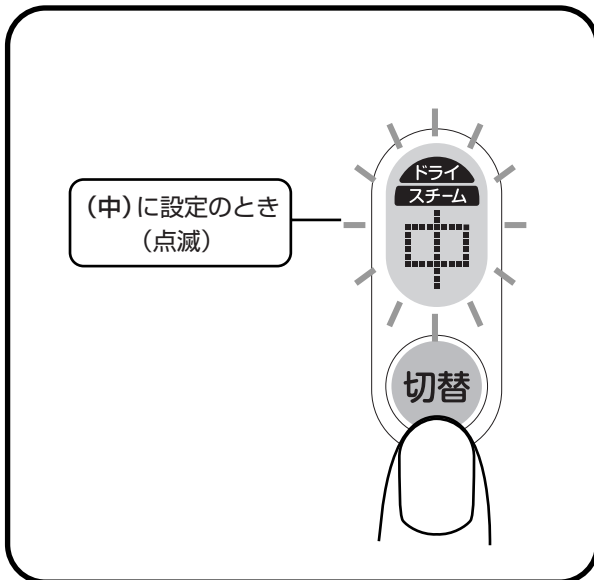
●布地を傷めないために
低温・中温の布地および熱に弱い布地には、目立たない部分に｢ためしがけ｣をし、必要に応じて｢当て布｣をしてください。

●接着芯地など、のりが付いているものにアイロンをかけるには
必ず、タオルなどの｢当て布｣をして、アイロンかけをしてください。

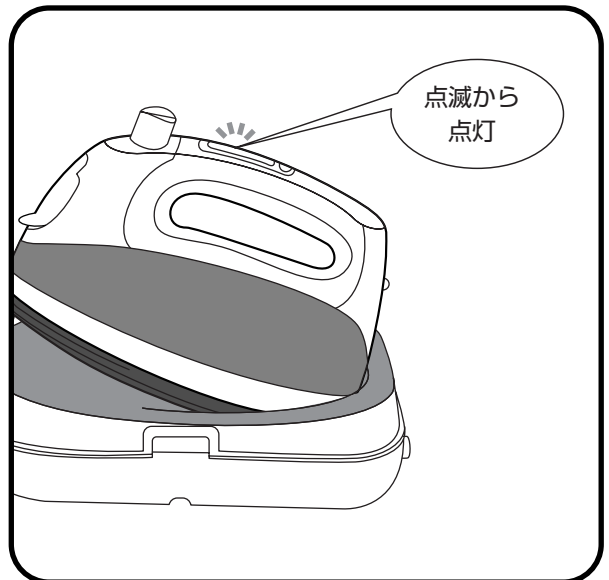
ドライアイロンとしての使い方（スチームボタンを「ドライ」にしてください）

●布地を傷めないために、低温・中温および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしがけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。

1　温度調節

アイロンをスタンドに置き、温度切替ボタンを押して、衣類に適した温度に合わせる。
※スタンドに置くときは、スチームボタンを押し下げて「ドライ」にしてください。

衣類に絵表示があるときは絵表示に従って合わせ、ないときはスタンドの繊維案内表示を参考にしてください。（下記ご参照）

2　使用開始

設定温度表示が点滅から点灯に変わると使える。

設定温度を高温から中温、中温から低温に変えた場合は、点滅が点灯になってからご使用ください。

「給電」・「収納」は10ページをご覧ください。

絵表示の見かたと温度の関係

絵表示の見かた例

絵表示	意味
中（波線）	〜〜線は指示温度で当て布をする意味です。
中 裏から	指示温度で布地の裏からかける意味です。
×印	アイロンかけはできません。

その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

絵表示と温度の関係

繊維製品の絵表示	低	中	高
衣類・布地の種類	アクリル アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン ビニロン レーヨン（長繊維） キュプラ・アセテート ポリエステル	綿 麻 レーヨン（短繊維） ポリノジック
温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約100℃	約150℃	約190℃
設定温度になるまでの時間	約35秒	約55秒	約80秒

※混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。

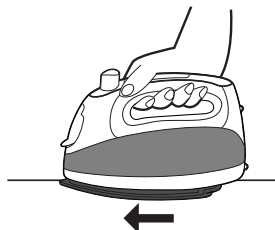
上手なアイロンのかけ方

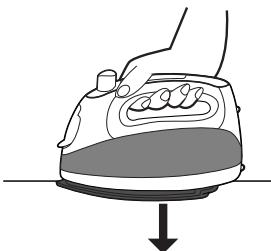
アイロンかけの基本動作

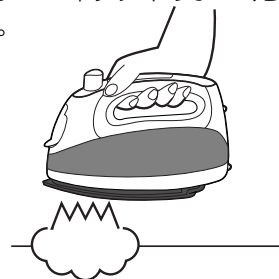
■アイロンかけは順序よくかける

●低温のものから高温のものへ順番に布地に合った温度でかけます。
アイロンかけの前に衣類を分類しておけば能率的です。

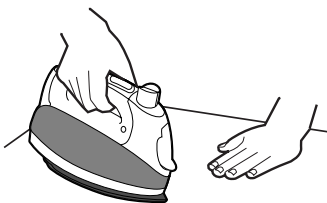
■軽くすべらす

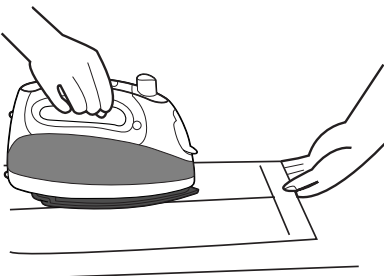
ワイシャツ・ハンカチの仕上げに。

■しっかり押さえる

パンツ・スカートの折り目つけに。

■「スチーム」は軽く浮かせる

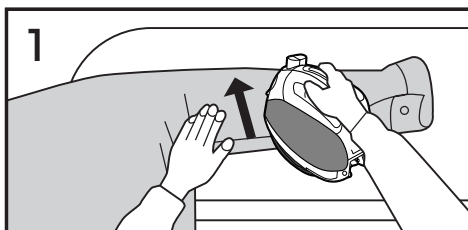
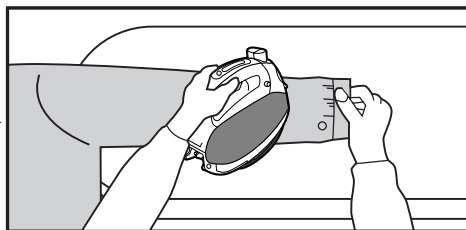
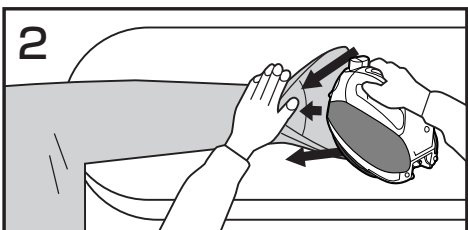
セーター・ネクタイのふっくら仕上げに。

■テクニックを身につける

両手をうまく使う

●かけやすいようにアイロンを持ちかえて。

縫い目は引っ張りぎみに

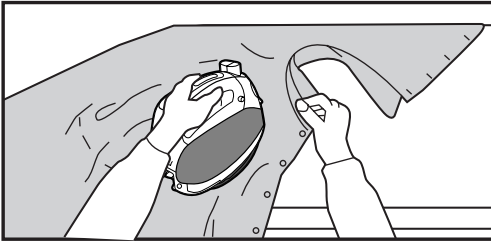
●細かいシワが残らないように。

■ワイシャツ

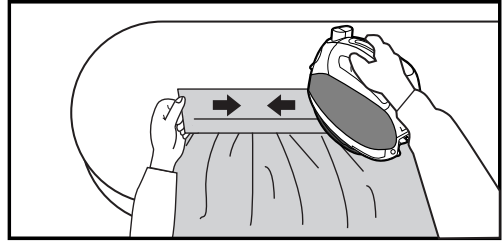
混紡（綿・ポリエステル）はスチームで、綿・麻は霧吹きをしてドライで仕上げます。

●袖の仕上げ

袖下の縫い目を基準にして、袖下から袖山へ向かって一方向にかけます。

アイロンを左手に持ちかえて、右手でカフスを支えながら袖口をきめます。

カフスを開き、その中にアイロンを軽くすべらせ、カフスの内側をかけます。

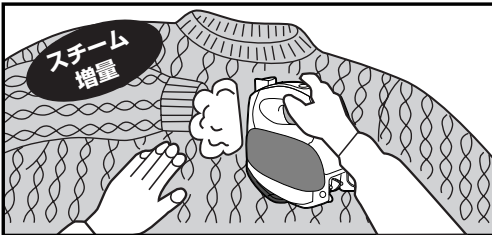
カフスを合わせ、カフスボタンを下にし、タックを押さえがけします。

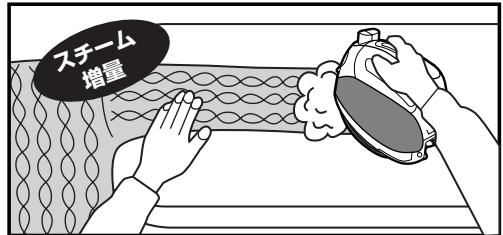
上手なアイロンのかけ方（つづき）

●肩（ヨーク）の仕上げ

テーブルの先端を利用して両肩をかけます。
（アイロンを左手に持ちかえた方がかけやすい）

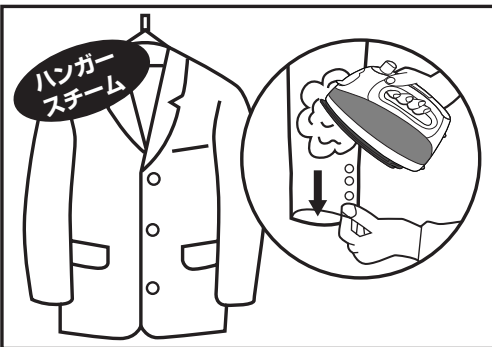
●エリの仕上げ

両端から中央へ向かって半分ずつかけていくと襟端にたるみが残らず仕上がります。

■セーター

●全体仕上げ

①全体にスチームをかけます。
アイロンかけ面が触れる程度で、スチームを全体にかけて形をととのえます。

●袖口など部分仕上げ

②形をととのえます。
伸びきった袖口やゴム編み部分には、たっぷりスチームをかけ、タテ方向に引っ張りながらととのえます。

■背広

●衣類をハンガーにつるしたまま

衣類の端を片手で軽く引っ張り、ハンガースチームをかけながら軽くかけ面でならします。何回か繰り返しおこないます。

防虫剤のにおいや衣類にしみついたタバコおよび汗のにおいなどは、全体にハンガースチームをかけます。

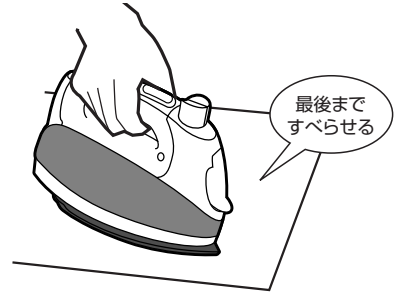
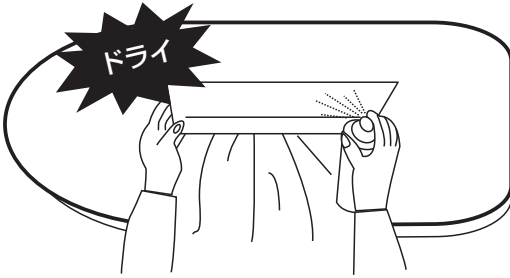
しみ抜き

スチームをかけ、繊維をほぐします。タオルなどを敷き、ガーゼにリグロインまたはベンジンを含ませ、たたいた後、再度スチームをかけ、においをとります。

POINT!!

●布地のテカリ防止や布地を傷めないために
低温・中温の布地および熱に弱い布地には、目立たない部分に「ためしがけ」をし、必要に応じて「当て布」をしてください。学生ズボンやスカートなどテカリやすいものは、必ず「当て布」をしてください。

■かけ面に布がからみつくときは…

●静電気が発生しています。かけている衣類を最後まですべらせてから、アイロンを持ち上げるか、当て布をしてください。

スプレーのりを使用する場合

ワイシャツの襟、カフスなどのパリッとした仕上げに使います。

●洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、**必ず「ドライ」**でアイロンかけをします。

少し固めに仕上げたいときは……

スプレーのり ➡ アイロンかけ（ドライ） をくり返します。

※一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因となります。

●ご使用後はかけ面がよく冷えてから濡れた布でかけ面についたのりをふきとってください。

スチームの上手な使い方

■スチームの出が弱い時は、ドライ／スチーム切り替えボタンをゆっくり2～3回操作する。または、スチーム増量ボタンを1～2回押す。

■水タンク内の水が少なくなったら水を補給する。

■ご使用の水は、上水道の水（浄水）か市販の精製水をお勧めします。

●ミネラルウォーターやイオン水は使用しないでください。

■スチームの出が止まるまでスチームを使用した場合、湯滴が出てくることがあります。

お手入れ（電源プラグを抜き、よく冷えてから）

■本体やかけ面などの汚れは、

●やわらかいぬれた布でふいてください。
（スプレーのりを使用した後は必ずふいてください）

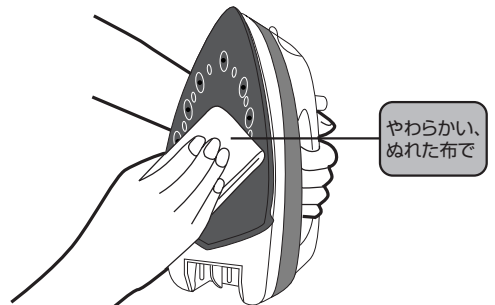
●がんこな汚れは、中性洗剤を含ませた布でふいてください。

※みがき粉・シンナーなどは使わないでください。

■スチーム穴をつまりにくくするには、

●「高」位置に合わせ給電してから、ご不用の布の上に2～3回「スチーム増量ボタン」を押してください。

■スチーム穴がつまったときは、

●つまようじで掃除したあと、「高」位置に合わせ給電してから、ご不用の布の上で「スチーム増量ボタン」を数回押してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら…この表を見ながらチェックしてください。
直らないときは修理をご依頼ください。

症　状	調べるところ・対処方法	参照ページ
熱くならない設定温度が表示されない	●電源プラグをコンセントに**しっかり差し込んで**ください。 ●アイロンをスタンドへ**正しくセット**してください。	7･8･9
スチームが出ない／少ない	●設定温度を「高」にしてください。 ●スチームボタンを**ゆっくり2～3回押して**ください。 ●**「スチーム増量ボタン」を1～2回操作**してください。 ●設定温度表示が**点滅**しているときは、**点灯**するまで待ってください。 ●水タンクの水がすくなくなっています。水を足してください。 ●アイロンをスタンドに戻して給電してください。	7･8･9･10
水漏れ・湯滴が出る	●「スチーム増量ボタン」は、**4～6秒間隔**で押してください。 ●設定温度表示が**点滅**しているときは、**点灯**するまで待ってください。 ●水タンクがキチンと取り付けられているか、確認してください。	7･8･9･10
設定温度表示が㊇に変わっている。	●オートオフしました。温度設定をし直してください。	10
布地が焦げる	●温度設定を布地に合わせた適温にするか、**「当て布」**をしてください。また、洗濯した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。 ※衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンがけをしてください。洗濯のりのつけすぎにもご注意ください。	8･9･12･13
スチーム（特にスチーム増量時）噴出時に白い粉が出る	●水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。 ●白い粉が衣類についた場合は、払っていただくと取れます。	7・15
設定温度表示が点滅したままオートオフした	●設定温度を下げても、室温が高く、設定温度に下がるまで時間がかかっています。温度設定を再度し直してください。（特に「高」から「低」に温度設定をした場合）	10
㊇表示のまま点滅し続ける	●室温が低く、アイロン内の水滴が凍結している恐れがあり温度設定ができないようにしています。室温を5℃以上に上げてください。	17

※チタンコートは長く使用しますと摩耗してこびり付防止の効果はうすれますがそのままお使いいただけます。
※初めての給電時に、臭いがすることがあります。
※水タンク内に水滴が付くことがありますがしばらくするとなくなります。
※スタンドを塩ビシート貼りの家具やフローリングの床や台に長期間置くと、ゴム足の跡がつくことがあります。

仕様

電　源	AC（交流）100V（50-60Hz共用）	温度過昇防止装置	温度ヒューズ（240℃）
消費電力	1200W	大きさ	幅 258mm 奥行 160mm 高さ 208mm（収納時）
種　類	スチーム（スチーム・スチーム増量） ドライ兼用		幅 208mm 奥行 106mm 高さ 130mm（アイロン本体）
蒸気発生方式	滴下式	質量 （重さ）	約2,100g（収納時） 約960g（アイロン本体）
水タンク容量	満水量 約120mL	かけ面	広さ 約126cm^2・ チタンコート
オートオフ	アイロンをスタンドに10分間設置した後にヒーター回路を切る。	コード有効長	約1.6m・コードリール付
温度調節	「低」約100℃、「中」約150℃ 「高」約190℃	最低使用温度	室温5℃以上

※電源プラグを差し込んだ状態では、㊉にしても制御回路の消費電力が約1Wあります。
　また、㊉の状態でも、「とって」が温かくなっていますが、故障ではありません。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口（☞18）にお問い合わせください。

❶ 保証書	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 **保証期間はお買い上げの日から1年です。**	
❷ 修理を依頼されるときは 持込修理	保証期間中	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
	保証期間経過後	修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
❸ 補修用性能部品の保有期間	アイロンの補修用性能部品を製造打ち切り後5年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
❹ ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店または下記のご相談窓口にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
❺ 修理料金のしくみ	修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。	

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120–3121–68
FAX 0120–3121–87

（受付時間）
9:00～19:00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談窓口へ

TEL 0120–8802–28
FAX 03–3260–9739

（受付時間）9:00 ～17:30（月～金）
携帯電話、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は
休ませていただきます。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
保証期間	お買い上げの日から1年です。

- 「修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。

愛情点検

⚠長年ご使用のアイロンの点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか	●電源プラグやスタンドの給電部が異常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●かけ面やとってが異常に熱い。 ●その他の異常、故障がある。

お願い	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、運転を停止し、専用のブレーカーを切り、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。

本書及び本書の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。
また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

コードレススチームアイロン保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店（修理申出先）やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	CSI-87	※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
		平成 年 月 日	本 体 ： 1 年
※お客様	ご 住 所 ご 芳 名	〒 - 様	
※販売店	住 所 店 名	〒 - TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体ラベル等の注意書にしたがった使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、ご相談窓口（☞18ページ）にご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはご相談窓口（☞18ページ）にご連絡ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、ご相談窓口（☞18ページ）へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）腐食、スチーム穴づまりによる故障および損傷。
   （ヘ）プラスチックの表面(かけ面のコーティングも含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷。
   （ト）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）本書のご提示がない場合
   （リ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口（☞18ページ）にお問合わせください。
● 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」（☞17ページ）をご覧ください。
● 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

S1009-87